

防災活動・協定締結

兵庫県伊丹・宝塚・川西地域支部 (支部長・福田満) は5月16日、川西市長から防災に関するこれまでの支部の活動を評価され感謝状を受賞した。伊丹、宝塚及び川西の各市とは既に「大規模災害等における隊友会の協力に結ぶ協定」を締結し、防災訓練等に積極的に参加・協力しており、その功績が認められたもの。川西市の防災訓練では、地域独自の防災組織と連携し避難者の誘導、救急救命活動等を実施した。(事務局次長・鍋山憲一)



感謝状を手に川西市長と
防災訓練では、地域独自の防災組織と連携し避難者の誘導、救急救命活動等を実施した。



秦野市長(中央)を囲んで記念撮影
「神奈川県県民共済支部」(支部長・藤本正則)は5月30日、災害時等における支援助力に関する協定を秦野市と締結した。市からの「自衛隊での経験・知識を活かして市のために力添えをお願いしたい」との要望を受け協議・検討し調印の運びとなった。市は山間地域もある約7万世帯の地方都市で、大小の活断層も確認され、関東大震災で大きな被害を経験、市民の防災意識は高い。(支部理事役・竹内諒吉)

地域社会協力活動

宮城県泉田支部 (支部長・齋藤公夫) は6月10日、県自然環境保全地域である斗蔵山(野鳥の森)で清掃奉仕活動を実施した。この地域は、低山ながら太平洋等への眺望が良いため市民に親しまれており、市民が快適に登山できることを念頭に、早朝から約1kmの車道両側の草刈りや砂利階段の登山道の路面整備を約2時間かけて実施した。清掃終了後、遅い朝食をおいしくいただき、互いの労をねぎらった。(事務局次長・瀧口隆平)



清掃開始前全員で集合写真
「宮城県泉田支部」(支部長・齋藤公夫)は6月10日、県自然環境保全地域である斗蔵山(野鳥の森)で清掃奉仕活動を実施した。

長野県安曇野支部 (支部長・丸山英二) は6月3日、第4回安曇野ハーフマラソンにおいてボランティア活動を実施した。安曇野ハーフマラソンは、雪を抱いた北アルプスと安曇野の田園風景を眺めながら走るコースがランナーの評判となり、日本百マラソンに選ばれている人気のある大会となっている。会員は、ゴルフ地点でランナーに冷たいお絞りを手渡し、「お疲れ様でした」「来年も来てね」と声を掛け健闘を労った。(支部長)



冷たいお絞りを準備する会員
「長野県安曇野支部」(支部長・丸山英二)は6月3日、第4回安曇野ハーフマラソンにおいてボランティア活動を実施した。

自衛隊諸業務への支援等

岡山県井原支部 (支部長・猪原孝弘) は6月10日、井原市総合防災訓練に参加した。この訓練は、市が毎年防災体制の充実強化と市民の防災意識高揚を目的に実施しているもので、警察・消防・自衛隊等約20団体、約400名が参加した。支部長以下5名で第13特科隊第1中隊が実施した災害現場の被災者捜索、救出活動等を支援。地味な派遣活動を市民に紹介するとともに、非常持出品、防災グッズ等展示を行い、市民の防災意識の高揚と隊友会活動の周知に努めた。(支部長)



地味な派遣活動を市民に紹介するとともに、非常持出品、防災グッズ等展示を行い、市民の防災意識の高揚と隊友会活動の周知に努めた。

山口県防府支部 (支部長・久美修) は6月17日、防府市新築地の「潮騒市場西側広場」において実施された山口県総合防災訓練に16名が参加した。関係団体約30団体参加のもと、2010年7月の集中豪雨による被害を教訓として被災者支援、自衛隊の救出活動、自衛隊のバスやヘリによる避難訓練、炊き出し等種々の訓練が実施された。会員は、避難誘導、移動経路の警備を担当し、大いに活躍し訓練を終了した。(事務局・中森登)



訓練会場に集合した会員
「山口県防府支部」(支部長・久美修)は6月17日、防府市新築地の「潮騒市場西側広場」において実施された山口県総合防災訓練に16名が参加した。

群馬県藤岡支部 (支部長・今井竹一) は6月11日、ボランティア団体等総勢30名が参加し、藤岡警察署で行われた青豆防犯パトロール出発式に、会員で編成された防犯パトロール隊の当日勤務者4名が参加した。現在、防犯パトロール隊は隊隊長以下7名の支部会員で編成され、通学路及びスポーツ等若くは防犯パトロール車2台で巡回し、学童保育所、図書館及び公民館を徒歩による巡回している。(支部長)



パトロール隊の会員
「群馬県藤岡支部」(支部長・今井竹一)は6月11日、ボランティア団体等総勢30名が参加し、藤岡警察署で行われた青豆防犯パトロール出発式に、会員で編成された防犯パトロール隊の当日勤務者4名が参加した。

大分県別府地区隊友会 (会長・茅野寛治) は6月11日、別府警察署生活安全課員とともに別府駅構内駐輪場で、学生の下校時間帯を見計らい16時から自転車盗難防止、特ツローックを推奨する啓蒙活動を行った。学生はもとより一般の利用者に対しても、ツローックが盗難防止に格段の効果があることを説明し、ワイヤーロックとティッシュペーパーを手渡して盗難防止を呼びかけた。(事務局次長・米田大作)



ワイヤーロックとティッシュを手にする会員
「大分県別府地区隊友会」(会長・茅野寛治)は6月11日、別府警察署生活安全課員とともに別府駅構内駐輪場で、学生の下校時間帯を見計らい16時から自転車盗難防止、特ツローックを推奨する啓蒙活動を行った。

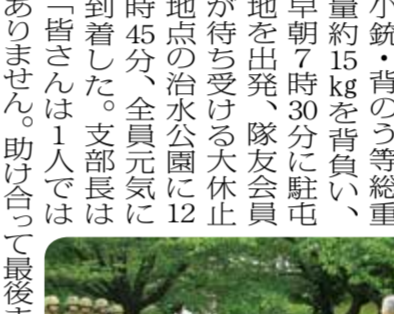
慰霊・顕彰等

札幌地方員知安支部 (支部長・油谷賢次) は6月17日、倶知安駐屯地内の第29普通科連隊記念公園の整備を30名余で実施した。第29普通科連隊は平成8年に廃止されたが、その歴史を伝えるため「29連隊記念碑」が設置されている。その記念碑の周辺のハイ松やオノコ(イチイ)の剪定と草刈りを行い公園内の環境を整え、7月1日の駐屯地創立記念行事の機会に寄与できた。(会員・木村勝豊)



29連隊記念碑前で集合写真
「札幌地方員知安支部」(支部長・油谷賢次)は6月17日、倶知安駐屯地内の第29普通科連隊記念公園の整備を30名余で実施した。

新潟県新発田支部 (支部長・西塚一朗) は6月11日、市内において今年度入隊した自衛官候補生61名の25日進進訓練を支部長以下10名で激励した。自衛官候補生は小銃・背のう等総重量約15kgを背負い、早朝7時30分に駐屯地を出発、隊友会員が待ち受ける大休止のバスやヘリによる避難訓練、炊き出し等種々の訓練が実施された。会員は、避難誘導、移動経路の警備を担当し、大いに活躍し訓練を終了した。(事務局・中森登)



激励する西塚支部長
「新潟県新発田支部」(支部長・西塚一朗)は6月11日、市内において今年度入隊した自衛官候補生61名の25日進進訓練を支部長以下10名で激励した。

旭川地方旭川南・中・北支部 (担当南支部長・野口宗雄) は6月5日、旭川市の北海道護国神社慰霊大祭を支援した。会員は「場内・外整理部」として、遺族の方々への防犯パトロール、降参位置等の安全確保・誘導案内等を担任した。当社には、明治戊辰の役より大東亜戦争に至る北海道・樺太関係の国事殉難者6万3154柱が祀られており、北海道各地から遺族が参列された。隊友ジャンパーを着用した野口支部長以下25名の会員が元気に支援した。(旭川地方事務局次長・山口正幸)



揃いのジャンパーで参拝
「旭川地方旭川南・中・北支部」(担当南支部長・野口宗雄)は6月5日、旭川市の北海道護国神社慰霊大祭を支援した。

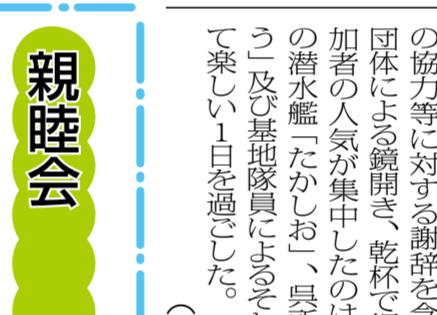
岩手県宮古支部 (支部長・三浦郁男) は5月28日、昭和39年航空事故で殉職した宮古自衛隊員の殉職者慰霊碑の清掃を実施した。この碑は、三沢での訓練を終えたF86Fが松島基地への帰路、濃霧のため高橋空対空隊が山に衝突して墜機したため高橋空対空隊が殉職された。これを供養するため昭和59年に建立されたもの。慰霊式典には、松島基地司令、山田基地司令及び支部長以下10名が参列し、生花等を供え御霊に焼香し冥福を祈った。(会員・金澤竹治)



慰霊碑の前に集合した会員
「岩手県宮古支部」(支部長・三浦郁男)は5月28日、昭和39年航空事故で殉職した宮古自衛隊員の殉職者慰霊碑の清掃を実施した。

親睦会

群馬県前橋支部 (支部長・井出三男) は6月10日、前橋市敷島公園内の釣り堀で釣大会を実施した。大人36名、子供10名の計46名が参加し、支部長の挨拶後、子供初めに続き大人も釣り糸を垂らした。大戸県事務局長と小野女性部長が来賓として参加。釣の食い付きも良く参加者全員が釣りを十分に楽しんだ。最後に釣り堀の水を抜き、子供達には釣のつかみ取りをさせ、好評であった。引き続きバーベキュー大会となり、新緑の下で釣り談義を花を咲かせた。(会員・青木章)



釣り糸を垂らす会員
「群馬県前橋支部」(支部長・井出三男)は6月10日、前橋市敷島公園内の釣り堀で釣大会を実施した。

宮城県東松島支部 (支部長・山口恵三) は6月8日、松島海軍航空隊(松空会)記念碑献花祭を松島基地のご協力を得て実施した。この記念碑は、昭和19年8月海軍航空隊の中攻搭乗員(特別攻撃隊)練成基地として開設されたこと終戦までの200名余の殉職者を偲び永遠の平和を願って建立された。支部は、平成22年に松空会から献花祭を引き継ぎ、今年、元特攻隊員で東京在住の竹島氏(93歳)、仙台在住の齋藤氏(90歳)が出席し献花された。(事務局次長・遠藤俊彦)



記念碑前で出席者全員の記念撮影
「宮城県東松島支部」(支部長・山口恵三)は6月8日、松島海軍航空隊(松空会)記念碑献花祭を松島基地のご協力を得て実施した。

鳥取県大社支部 (支部長・豊田彰) は6月16日、大社町の北山系中腹の慰霊碑の清掃を実施した。この碑は、終戦1カ月前に海軍航空隊が北山系に墜落し14名が亡くなり、これを供養するために建立されたもの。慰霊碑まではチェーンソーで倒木を伐採・除去して進み、念入りに清掃した後、自衛隊家族会3名を含む全員で手を合わせ冥福をお祈りした。今年はお新海軍艦から引き継いで4回目。7月2日には会員も参加して神光寺で法要が行われる。(支部長)

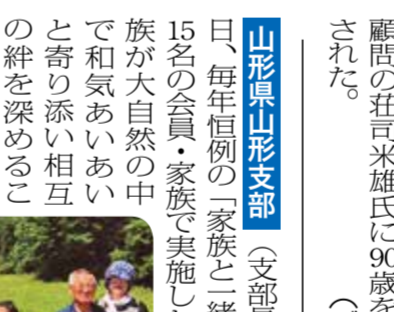


チェーンソーで倒木を伐採・除去
「鳥取県大社支部」(支部長・豊田彰)は6月16日、大社町の北山系中腹の慰霊碑の清掃を実施した。

漢検

漢検 日本漢字能力検定問題
準1級 (大学・一般程度)
(一) 次の傍線部分の読みをひらがなで記せ。1, 2は音読み、3は訓読みである。
1 割烹着を着替えて立ち廻る。
2 息子の結婚式に甥姪が勢揃いした。
3 対岸の大岩の辺りが潮になっていた。
(二) 次の傍線部分のカタカナを漢字で記せ。
1 事実を工巧めに報告した。
2 鮮やかな手綱サバキに感嘆した。
(三) 次の漢字の読みをひらがなで記せ。
1 長い風箏に耐えてみる。
2 甚重な鎮痛剤に耳を傾ける。
(四) 次のカタカナを漢字に直せ。
1 政治のリンリが厳しく問われる。
2 モンキリ型のスピーチが続いた。
(解答は、この面)

山形県山形支部 (支部長・石澤政光) は5月27日、毎年恒例の「家族と一緒ワラビ採り」行事を15名の会員・家族で実施した。本行事は、家族が大自然の中で和気あいあいと寄り添い相互の絆を深めることを目的とするもの。風薫る五月晴れの中、参加者全員が抱えきれない程のワラビを採取して楽しい一時を過ごした。来年の再会を誓い合った。参加できない高齢会員や病弱療養中の会員に対しワラビを自宅へ届け見舞い・激励を行った。(事務局次長・岡崎誠)



ワラビを手に記念写真
「山形県山形支部」(支部長・石澤政光)は5月27日、毎年恒例の「家族と一緒ワラビ採り」行事を15名の会員・家族で実施した。

公益財団法人 日本漢字能力検定協会
http://www.kanken.or.jp/kanken/
検定日 10月14日(日) 申込締切日 6月14日(金) 協定会費 1000円(税込) 申込書は「漢検」は登録商標です。

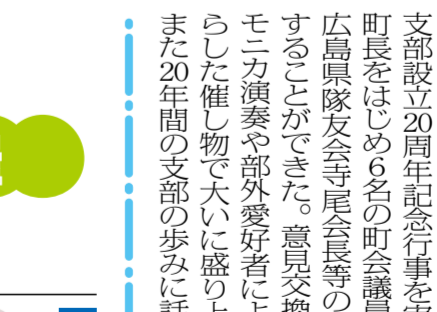
鳥取県出雲北支部 (支部長・中谷旭) は6月17日、旧JRC高松駅前の高松地区戦没者追悼法要に先立ち、「忠魂碑」周辺の雑木伐採、草刈り等の清掃活動を19名で実施した。この忠魂碑は戦没者を供養するため建立された。先陣は砲弾型となっており、本清掃活動は、在郷軍人会から戦没者遺族会へと受け継がれ、現在は出雲北支部が毎年春と秋に、2時間程掛けて行っている。(支部長)



砲弾型「忠魂碑」の前で記念撮影
「鳥取県出雲北支部」(支部長・中谷旭)は6月17日、旧JRC高松駅前の高松地区戦没者追悼法要に先立ち、「忠魂碑」周辺の雑木伐採、草刈り等の清掃活動を19名で実施した。

支部設立記念行事

広島県熊野支部 (支部長・實田正義) は6月2日、支部設立20周年記念行事を実施した。行事は、三村熊野町長をはじめ6名の町会議員、2名の町出身身業議員や広島県隊友会等尾会長等の参加をいただき盛大に開催することができた。意見交換会では、熊野理事役のハートフル演奏や部外愛好者による「踊り舞踊」等趣向を凝らした催し物で大いに盛り上がり、相互の親睦を深め、また20年間の支部の歩みに話を映かせた。(支部長)



熊野支部設立20周年記念写真
「広島県熊野支部」(支部長・實田正義)は6月2日、支部設立20周年記念行事を実施した。

総会を開催

<p>山形県鶴岡・田川支部 (支部長・國分龍三) 國分支部長の挨拶</p>	<p>山形県鶴岡支部 (支部長・國分龍三) 総会風景</p>	<p>岩手県滝沢支部 (支部長・南野勇) 事業報告を行う北川支部長</p>	<p>札幌地方滝川支部 (支部長・北川裕巳) 審議中の会員</p>	<p>札幌地方若見沢支部 (支部長・藤原恒雄) 祝辞を述べる佐藤塩山市長</p>	<p>宮城県塩釜支部 (支部長・佐藤源一) 徳永駐屯地司令の講話</p>	<p>宮城県栗田支部 (支部長・柳澤正博) 徳永駐屯地司令の講話</p>	<p>愛知県春日井支部 (支部長・小山幸平) 集合写真</p>	<p>愛知県春日井支部 (支部長・小山幸平) 総会風景</p>	<p>愛知県豊川支部 (会長・山田完治) 総会風景</p>	<p>福岡県筑後地区会 (筑後地区9個支部で構成・会長・西川勝) 佐藤外務副大臣による講話</p>	<p>鹿児島県鹿島支部 (鹿児島市内6支部で構成・会長・石崎耕太郎) 東支部若松氏による講話「西郷どん」</p>
--	---	--	--	---	---	---	--	--	--	--	---